

# タウンミーティングにおける町民みなさんの声

(令和3年7月11日～令和3年10月1日まで)

## まちづくり1 健やかに暮らせるまちづくり

- ・家で「ジっと」しているのではなく、何か活動をしていきたい。
- ・コロナ以前から「お茶飲み」の機会が減っており、コロナにより他人の家に上がることはほとんどなくなった。
- ・通いの場やいきいきサロンは交流の場として大切。
- ・コロナの影響で何でも「ダメ」となり、孫の運動会や発表会も見れずさみしい。
- ・通いの場等は介護予防の面で大切であり、コロナ禍においても感染対策を施しながら実施していきたい。
- ・地域のお祭り、運動会も開催できず、若手への伝承も途切れてしまいそうで不安。
- ・藤田病院があることは良いが、無い診療科や常時診療でない診療科もある。その場合町に、外の個人病院等に行かざるを得ないが、交通手段に問題を抱える方が増えると思う。
- ・藤田病院には研修医はそれなりにいるようだが、診療科を増やせるように、研修終了後に残ってもらうように働きかけが必要ではないか。
- ・この町に総合病院があることは誇り。存続できるようにお願いします。
- ・通いの場などのコミュニティー活動に男性の参加が少ない。
- ・こういった活動も指導やお世話してくれる方が大切で、後継者不足も心配だ。
- ・活動内容のマンネリ化もあるので、呼吸が深くなる運動やタイ式ヨガの講師を招くなどの活動をしたいので、町で支援してもらえるとありがたい。
- ・町外にはジムなどの施設があるが、交通手段がない。町に施設を作るのは難しいと思うが、町が指導員を採用するなり、業務委託するなりして、こうした活動の場に派遣することも検討してはどうか。

## まちづくり2 安全・安心な優しいまちづくり

- ・飼い猫、犬の管理。徹底してほしい。
- ・散歩の際にフンの後始末の徹底を。
- ・商店街を再生する上では、空き店舗の利活用が必要。
- ・商店街の区画整理等も考えられるが、大規模でやらないと意味はない。
- ・市街化調整区域での制限が緩和されれば、建築等が活発になるのではないか。加えて、地元工務店で町内に建築する方に給付金等の優遇措置があるとよい。

- ・集会所のごみ置き場に無断で粗大ごみが放置され困っている。⇒住民防災課に相談し、看板を用意してもらったので、今後の状況を見守る。
- ・地域内に空き家が増えている。利活用を検討すべき
- ・長坂周辺の農地が耕作放棄により荒れている。春の時期は桃の花の観覧、阿津賀志防塁、長坂と景観の良いスポットなので何とかしてほしい。
- ・モーター峠跡地の草刈りが毎年遅い。こちらから連絡する前に対応してほしい。
- ・集会所近くに湧き水あり。災害時等は貴重な水源であり、町で管理してはどうか。
- ・町道の雑草が繁茂しており、草刈りしてほしい。
- ・中学生の通学路になっている町道の植栽で棘のある植物があるので管理してほしい。
- ・柏葉体育館の交差点危ない。送迎車の一時停止や減速運転を徹底してほしい。
- ・免許返納を考えているが、交通手段に不安がある。また、交通費負担が年金生活者にとっては苦しい。
- ・災害発生時の避難所運営については、肉体的にもつらいが、それ以上に精神的な負担が大きいので、ケアをお願いしたい。
- ・個人所有の廃屋の片付けについて、所有者との交渉も暗礁に乗り上げており、打つ手が無い。なんとかならないものか。
- ・草木が生い茂り、近隣の方が除草剤散布等しているが、限界がある。住環境の整備のため、町の協力をお願いできないか
- ・個人所有の被災建物が傾倒しており危険ではないのか。景観上もよろしくないの、町で指導等をお願いしたい。

### まちづくり3 未来につながるまちづくり

- ・放課後塾は大変ありがたい。ただ子供の人数も少ないわけだし、定員がなくても良いのではないか。教育の機会を平等にしてほしい
- ・放課後の子どもの居場所が必要と感じる。幼稚園2階の活用や小学校校舎の放課後利用も検討できるのではないか。屋内でトイレがある場所が良い。
- ・図書館に期待している。子どもはソフトテニスをしているが、体力がないと感じる。体力をつける施設等があるとよい。
- ・これまで習い事の送迎で時間がなく、保留していたが、町内に公営の放課後塾ができたことはありがたい。国内、県内における学力差が心配。
- ・読解力がなく心配している。将来的には放課後塾で「国語」を加えてほしい。
- ・中学校の女子制服、なんとかならないか。ずっと変わっておらず、夏服が七分というものあり得ない。そもそも制服が必要か。気候変動への対応がしにくい。
- ・入学祝品もありがたいが、トータル金額で言うと給食費無償化になってありがたい。

- ・ひとり親は経済的に大変だと聞く。そういった方々への支援が必要と感じる。
- ・習い事をしている子どもも多く、焦っていた。勉強が全てではないが、一定程度は必要であり、色々な選択肢があることが必要。
- ・「放課後塾」は講師が若く、子供も親しみやすいようだ。
- ・防災教育はどうなっているのか？防災頭巾もあるのか、ないのか。災害時の「お迎えルール」もないようだ。
- ・町を知ること⇒ほこり⇒自らのルーツとなる。もっと「国見町」を学ぶ機会を増やしてほしい。
- ・給食費無償化はありがたいが、経済的に負担できる方は、負担したほうがよい。本当に困っている人への支援をすべき。
- ・入学時等は確かに出費がかさむが、祖父母等の支援もある。給食費無償化は月々の出費が少なくなるので、本当にありがたい。
- ・町場への買い物、まちなかタクシーは便利だが、バスのほうが安かった。まちなかタクシーの登録方法がわかりにくい。
- ・空き家が増えており、管理が不十分。ハクビシン等の住処となるので何とかしてほしい。
- ・老朽化すると、屋根などが強風で飛ばされないか心配。
- ・ももさぼ給付金はありがたい。
- ・藤田病院に産科を。生まれから死ぬまで国見で。
- ・子育てはわからないことばかりだが、町の保健師等のサポートもあり、助かっている。
- ・子どもの偏食が激しく、初めてのものは食べない。出かける機会が少なく、最近になって、このクラブで色々な情報を得られるのでありがたい。
- ・子どもの定期健診の時間を午前中にしてほしい ※午後だと子どもが眠くなり、どうしてもぐずる。
- ・国見は交通の便も良く、病院もあるのでよい。
- ・給食費無償化は本当にありがたい。ただ水曜日も給食にしてほしい。
- ・産後や自分が病気等の時、家事をヘルプしてもらえるサービスがあるとよい。
- ・子育てに関して、町の栄養士に気軽に相談できることはありがたい。
- ・ももさぼを定期的に利用しており、ありがたい。図書館やつながる～むを今後利用したい。
- ・藤田病院の小児科は空いているが、初診料が毎回かかるので、町外に通院している。
- ・麻しん風しん等の払い戻し手続きについて、町と病院の連携が取れておらず、わかりにくい。
- ・ももたん広場、町外者の利用が多く、遊びにくい時もある。すべて無料ではなく、町外者は有料にするなど検討してほしい。
- ・国見の子どもの印象は「とにかく素直」。一歩踏み出しが足りないと声を聞いたが、それもわかる気がする。
- ・国見の子どもたちは、安全に守られている。学力が高い子どもほど、客観的に自分を見て

いる。学力が低い人は「なんとかなる」と思いがち、学力が高くても、低くても『自分の居場所がある』。ただこれはいい面でもある。

- ・ 幼小中と同じメンバーであり、学力など自分の順位が固定されがち。
- ・ 保護者のネットワークも密であり、よその子どもの事もよく知っている。
- ・ テーマ授業などを通して、選択肢を見せていくななどしたい。2万~2.5万の職種があるといわれているが、そのことすらわからないと思う。色々な可能性があることを知るきっかけを作っていきたい。自分の知らない世界、職業、生き方があるんだということを感じてほしい。
- ・ 子どもたちの『なぜ?』ということから好奇心を動かすような提案もしていきたい。
- ・ 少年仲間づくりに参加しているが、職員の方が大変そうで、オペレーションに追われている。新しいアイデア等を一緒に提案できればと思う。
- ・ 国見町は同一の小学校、中学校であり、高校も学力に応じ、2~3校からの選択であり、選択肢が少ないと感じる。
- ・ 国見の子どもたちは、まっすぐで一生懸命に勉強している。現実的に自分をとらえている。
- ・ 町、保護者のサポートもあり、学校の先生も協力的。おかげで順調に進んでいる。今後は生涯学習にも視野を広げ進めていきたい。
- ・ 中学校部活の朝練だと思うが、気温が30度超と高いにも関わらず、ランニングの練習をしていて、子どもの様子を見ると心配になる。
- ・ 体育館にクーラー等の空調設備を設置してほしい。以前とは暑さの質が異なる。健康面からも是非お願いしたい。
- ・ 中学校では、冬場でも女子生徒の靴下は「くるぶし」までと決まっており、ストッキングも「肌色」と決められている。なぜ、「黒ストッキング」がダメなのか理解できない。気候・季節に合った校則とすべき。
- ・ 先生が親身に相談にくれ、理解してもらっており、助かっている。
- ・ 今年度、中学校のプール授業の回数が2回だった。桑折町とは相当差があるようだ。体力的な差にもつながるのではないか。
- ・ 柏葉体育館の駐車場に外灯はあるが暗い。送迎時に子どもと接触しそうで怖い。もう少し明るくしてほしい。
- ・ 中学校では、ヘアピンは一般的なもの（アメリカピン）しか認められていない。マット運動などをする際に刺さって痛い時もあるようだ。「パッチン」タイプの使用が認められないのはなぜか。
- ・ 英語検定、数学検定の助成ありがたいが、級が上がると検定料も上がるので、級に応じた助成をいただけるとありがたい。また、不合格で再チャレンジする際にも助成いただけるとありがたい。
- ・ 中学校体育館にトイレがないので、設置してほしい。
- ・ 柏葉体育館に換気扇は付けていただいたが、窓を開け使用している。その時にボールが出

ていかないようにネットを張っているが、網目が大きく大きな蛾などが入ってくる。ちょうど良いサイズの網戸のようなものをつけてほしい。

- ・上野台テニスコートは町外の利用者が多い。コロナ禍で利用制限もあり、余計に国見町に流れてきている印象。
- ・町外、県外からの人流は、コロナ禍にあっていかがなものか。特に外コートはネット等で仕切られておらず、接近・接触の心配もある。
- ・大枝の体育館は成人のバレーやバスケットチームが利用しているようだが、施設の使い方の面でマナーが悪い。地区で清掃管理を行っており、何とかしてほしい。
- ・中学校前の歩道橋を自転車を押して渡るのが大変な生徒もいる。特に体の小さい生や女子生徒は大変。小中学校はとにかく荷物が多く、かなり負担になっている。腰痛になった生徒もあると聞く。今後、GIGA スクールの中で電子教科書にもなるので、減らすようにしてほしい。
- ・女子中学生の前髪のサイド（いわゆる「触覚」と言われる部分）をダメとする理由はなにか。また「ヘアピン」の使用も制限されているのもどうなのか。
- ・髪を縛る位置もある高さ以上はダメと言われている。ヘルメットをかぶる際に支障になるといった部分もあると思うが、厳しすぎる印象がある。
- ・中学校で送迎時間を家族に連絡する場合に、昼休みに限られている。列を作る場合もあるようで、もう少し柔軟にしてもいいのではないかな。
- ・女子生徒などは、中学校前の歩道橋の上り下りに手間取り、後ろに渋滞が出来てしまうことを心配している。とにかく荷物が多く、重い。全ての教材を毎日持ち帰るのではなく、学校に置けるものは置くなど検討してほしい。
- ・毎日の自主学習のやり方のルールがガチガチ。問題文を書き写すことに時間を割かれている。もっと自由に多くの問題を解いたほうが効率的だと感じる。
- ・国道を横断できる横断歩道が指定されており不便。生徒によっては遠回りになり、時間の無駄になっている。もっと横断できる横断歩道を増やしてほしい。
- ・荷物が多く重いことは成長の妨げになるのではないかと心配している。
- ・中学生の校則で「パーカーNG」というのはいかがなものか。
- ・靴下の色も小学生は「白・黒・紺」なのに中学生は「白」のみ。理由はあるのだろうが、もう少し柔軟にすべき。
- ・中学校の校則で、「自転車の荷台NG」とする理由がわからない。ただでさえ荷物が多く重いので、荷台はあったほうが良いのと感じる。
- ・中学校の校則に「革ジャン・スカジャンNG」とあるが、必要なのか？
- ・通信簿のつけ間違いがあった。先生も忙しいとは思いますが評点にもつながるので慎重にしてほしい。
- ・中学校の一部の部活動で、スポ少と部活の境界線、担任先生の役割等、諸々気になっている。全ての生徒が強くなることを目指しているわけではない。保護者も振り回されること

- も多く、部活動の範疇を超えているように感じる。
- ・認定こども園は共働き世帯にとっては良い。幼稚園は土曜日休みだが、こども園はどうなるのかなど、制度的な違いが判らない点もある。
  - ・保育所と幼稚園が別だと送迎が大変認定こども園化すれば一カ所になるので便利になると思う。
  - ・小中学校の施設は、徐々に老朽化していくが、どの程度使えるのか。教室が狭いように感じる。多目的ホールが使い切れていない。
  - ・少子化が進み小学校を統合した。少ないからこそ、もっと手厚く、環境整備をしてほしい。将来的に保、幼、小、中を集積し、子どもに関わる部署や事務局も一カ所に集めることが理想ではないか。
  - ・すべてを集約し「くにみ学園」とするには時間はかかると思うので、こども園に関しては新しい施設を作るのではなく、今ある幼稚園等を利用すべきと考える。
  - ・くにみ学園都市のような構想が必要。このような都市（エリア）を作ることで、その周辺に人が住むようになる。その周辺を宅地造成し、低価格で販売できれば、移住者を呼び込むことができるのではないか。国見町は県境で「都落ち」のようなイメージもあるので、大胆な政策が必要かと思う。
  - ・保育所と幼稚園の機能は統合したほうが良い。子どもたちの成長を一貫して見守り、生活習慣を育む保育・教育ができることが望ましい。

## **まちづくり 4** 恵まれた資源を活かしたまちづくり

- ・サル、イノシシ被害が深刻。サルによる桃の被害も多い。耕作放棄地を解消しないといけない。
- ・桐目木山の管理後継者の育成が課題。いずれ桐目木でグランピングをできればいい。
- ◆【コロナの影響】（本業について）
  - ・影響はあまりない。長引くことで今後に不安。
  - ・去年は工場の操業停止により部材が入ってこず、大きな仕事が飛んだままとなっている。
  - ・資材の納品が遅れ、工期に影響を及ぼしている。
  - ・ウッドショックによる木材の高騰。それに併せ鋼材や資材全体も高騰が顕著。
  - ・資材高騰が続いており、発注・納品の時期による単価差が経営に悪影響を及ぼす。
  - ・コロナの影響で網戸やマスク等の受注が好調の面も。
  - ・お客さんのお金の使い方に変化（購入⇒修繕・修理）
- ◆【コロナの影響】（その他）

- ・飲食業は苦戦続きだが、形態を変えるなど努力が必要
- ・観光業への影響は大きく、会津・喜多方などは厳しい状況。ただ「自粛慣れ」も感じる。
- ・イベント出店なく苦戦。県外からのお客さんはうれしい反面、感染面で不安もある。去年よりは持ち直している。
- ・国見町はくだものの町なので、農地を保全していく必要は感じる。
- ・異業種が農業に参画する上では、機械設備への投資がネックとなる。
- ・農業ビジネス訓練所での研修は、環境に恵まれ、楽しく農業ができています。JA出荷ではなく、直売をメインでやっていきたい。
- ・道の駅出荷は、特に夏場の競争が激しく、正直、出荷しにくい。「んめ〜べ」のほうが出荷しやすい。
- ・長期研修修了者のメリットとして、機械を使わせてもらえるとかあるとよい。横のつながりがほしい。
- ・農業ビジネス訓練所での研修はこれまでの仕事と違って、今のところつらいと思うことが少ない。お金の面とかこれから出てくると思う。
- ・リスク分散のため、複数の直売を掛け持ちしたい。直売所の情報がほしい。
- ・道の駅は棚割りや入れ替え等について考慮してほしい。
- ・自分で農地を持ちたいが、荒れ地は初期整備が大変なので、条件の良い農地だとありがたい。
- ・農業ビジネス訓練所での研修は、新しい知識、技術習得等、学びの段階であるが楽しくできている。来年以降は経営とかの面では大変な部分も出てくる。相談できる環境があると良い。
- ・不安もあるが、楽しみが大きい。早く自分でやってみたい。
- ・農業ビジネス訓練所では、農業を学んでる最中で、来年から一人で就農となると不安もある。
- ・早めに住宅を構えたい。ペットがいるので戸建てが必須条件となる。国見を最優先に考えたいが、なければ町外も検討する。
- ・農業ビジネス訓練所の研修は、現時点では楽しく出来ているが、来年からの経営面では不安もある。収入面で不安があり、作物ごとの目安の収入が掴めない。目安があったとしても来年からその収入を担保するのは厳しいと考えている。
- ・国からの助成金等は活用するが、そればかりに頼らず営農したい。特別金持ちにならなくても、安定して経営したい。
- ・コープの隣にまたドラックストアができるが、違う業種の店舗をきてほしい。
- ・商店街に営業している店舗が少なく、寂しい。パルシステム等の宅配システムは便利だが、手数料もかかり、値段も割高だが、仕方ないとあきらめている。

## まちづくり5 相互理解と共感のあるまちづくり

- ・公共偉業は、発注件数も減っているが、一件の単価も減っている。
- ・町外の業者が入っていると「あれっ？」と思う。出来るものは町内業者へ発注してほしい。
- ・特定建設業を持っておらず、不利な面もある。建築・電気・設備を分離発注も検討してほしい。
- ・ふるさと納税の返礼品として①お墓の管理、献花 ②空家の管理、除草を検討している。
- ・観月台文化センター公園の雑草が気になる

## まちづくり6 町として生きるまちづくり

- ・世話やき人としてHPに掲載されてから、電話が来るようになった。
- ・県世話やき人もやっているの、情報を共有しながら進めている。
- ・コロナ禍で制限はあるが、一対一で世話やき人の自宅などを利用し、合わせることは可能。本来は拍車をかけて進めたいが、なかなか難しい。HP等での情報発信も大切だが、HPを使えない人もいる。今年度、世話やき人の活動をチラシにして配布したところ、反応があり、うまくいきそうな案件もある。
- ・若者の声として、国見はアパートが少ないと聞く。保原や桑折が人気だ。
- ・他市町は住宅取得や定住に関する補助が充実しているとの意見もある。
- ・移住定住を進めるためにも、この「結婚世話やき人」の活動を推進すべき。登録者を増やす必要があり、未婚の町職員などにも登録してもらって、組織的な活動ができるとよい。
- ・若い世代は想定以上に所得が低いので、低家賃が良い。空き家を町が買い取りリフォームし、貸せないか。
- ・空き家の情報共有とマッチングがうまくいっていない印象がある。
- ・仲人報酬制度を復活してはどうか
- ・商工会のスマイル国見とも打合せをしたが、その後の活動につながっていない。何かイベントのようなものは必要と思うが、コロナ禍で難しい。
- ・移住定住は、住宅政策も大切だが、仕事がなければ若者は来ない。そこもリンクさせながら進める必要がある。
- ・結婚世話やき人の活動は徐々に認知され、活動の場も広がりつつある、みんなで協力しつつ、継続していきたい。